

第5回 STIA小学生初心者テ大会 & 10歳以下チャンピオン大会

◆日 程 令和3年10月17日(日) 予備日 10月 24日(日)

◆会 場 川越水上公園テニスコート

◆種 目
・男女混合シングルス高学年の部
・男女混合シングルス低学年の部
・10歳以下チャンピオン大会男子・女子シングルス

主催 埼玉県テニス事業協会 (STIA)

協賛 サントリービバレッジソリューション(株)
(株)ダンロップスポーツマーケティング

大会役員

大会会長	浜中 豊治	
大会副会長	飯田 健司	
大会委員長	関根 浩王	
大会副委員長	浅海 健一	大木 淳一
大会委員	金子 太郎	小泉 哲也
	荒井 秀樹	浅海 健一
	吉岡 俊亮	栗原 秀明
	吉田 正仁	遠藤 隆司
	土橋 克善	小林 正幸
	木下 和夫	

大会注意事項

集合時間は下記の通りです。
10月17日 初心者大会参加者8:30集合
10歳以下チャンピオン参加者11:00集合
10月24日 予備日の集合時間は17日と同じ

- 1) 試合のできる服装で、定刻10分前までに役員に届けること。
(服装はスポーツウェア及びボールの入るポケット付きズボン・スカート)
- 2) 初心者大会の試合は4ゲーム先取(ノアドバンテージ方式)のリーグ戦後、1位のトーナメントを行います。
チャンピオン大会は6ゲーム先取(ノアドバンテージ方式)。(コンソレーション有り)
- 3) 審判は全試合セルフジャッジです。
- 4) 試合前の練習はサービス4本のみです。
- 5) 試合進行は大会役員の指示に従って下さい。
- 6) 当日、雨天など不明な場合も必ず現地に集合して下さい。
(会場事務所への問い合わせはしないで下さい)
- 7) 持ち物 大きめの水筒/お弁当(おにぎりなど食べやすいもの)
帽子(野球帽・キャップ)は必ず使用/タオル・雨具・着替え・シャツ等
- 8) 参加人数が多いので、集合時間までに必ずトイレをすませて下さい。

ジュニアの皆さんへ

◎試合に参加するために

この中には、初めて試合に出場するみなさんに、ぜひ知っておいてもらいたいことが書かれています。

これを読んでから、試合に参加すればこまったときにどうすればよいかわかります。

ご父兄・ジュニアテニス関係者の皆様へ

埼玉県テニス事業協会では、ジュニアテニスの普及・育成に努めておりますが、マナー・ルールの細部まで徹底できないのが現状です。日頃お子さんと接している関係者の皆様にご協力いただき、ジュニアテニスの発展を図っていきたいと思います。つきましては、是非この資料をお子様と一緒に読みいただき、細かい解説をして下さい。皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、文章中理解できないもの・ご意見等がございましたら、埼玉県テニス事業協会までお申し出下さい。

1. 大会参加について
2. 大会のきまり
3. セルフジャッジについて
4. こまったら、こうしよう
5. 応援について
6. ご父兄・関係者の皆様へ
7. 大会参加資格について
8. その他

埼玉県テニス事業協会

1 大会参加について

試合に参加するためには、次のことをしっかりとできるようにしましょう。

スコア(点数)をしっかりと大きな声で言えるようにしましょう。
コートチェンジなど試合のすすめ方をしっかりとおぼえましょう。
アウトとセーフをしっかりとコールできるようにしましょう。
試合のとちゅう、苦しくても最後までがんばりましょう。
試合会場での受付、質問など、すべて自分でできるようにしましょう。

(父兄) 大会はセルフジャッジが主流となっています。スコア・ゲームカウント等、間違うことがあります。コート外からのアドバイスは禁止されています。

2 大会の決まり

大会の日に病気やケガなどで棄権することがないように気をつけましょう。
集合時刻に遅刻しないようにしましょう。遅刻すると試合に参加できません。
服装はスポーツウェアをお願いします。(ボールの入るポケット付きズボン)
試合方法はチャンピオン大会は6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)のトーナメント
チャレンジ大会は4ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)のリーグ戦
ウォーミングアップはサービス4本とします。
試合が終わった後は勝者が受付けにボールを持って結果を報告します。

3 セルフジャッジ

セルフジャッジは自分の立っているコートのアウト・セーフをコールして
試合のスコアをコールします。
※コールのやり方は、大きな声と手でアウトのジェスチャー(ひとさし指を立てる)
の両方をする

セーフのボールをアウトにするなど
「ずるいこと」をしてはいけません。

セーフかアウトかははっきりわからない場合はセーフです。
試合をみている人に聞いてはいけません。
アウトのコールやポイントのスコアは相手に聞こえるくらいの
大きな声でしましょう。

(父兄) テニスはセルフジャッジで行われる場合が主です。お互いがお互いを信じあって
スポーツマンとしてひとつのルールを遵守して行われます。このことが真のスポーツの
楽しさを約束してくれます。ジュニアとはいえ、ひとりのスポーツマンとして
孤独なコートで戦わなければなりません。誰の手助けを受けることも出来ません。
ご両親としては、何とか手助けをしてあげたいのはわかりますが、
一度手助けをしてしまうと、そのジュニアは試合のたびにご両親に手助けを求めます。
真のスポーツマンとして成長していけるよう、関係者の皆様にはご協力をお願いします。

4 こまったら、こうしよう

スコア・ゲームカウントがわからなくなったら～

相手に聞きましょう。

相手のボールがアウトかセーフかわからないとき～

わからないときはセーフです。

自分はアウトのコールをしたが、相手が「入っていませんでしたか？」と聞かれたら～

自分が絶対アウトと思ったら「アウトでした」と自信を持って言いましょう。
自分でも自信がないときは「わからない」ではなく
「入っていました」と言いましょう。

相手はアウトと言ったが自分では絶対入っていたと思ったとき～

相手に「入っていませんでしたか」とたずねます。相手が「アウト」と言ったらアウトです。
相手が「わかりません」と言ったら「わからないのならセーフで、私のポイントですね」と相手に言いスコアを確認します。

自分の打ったボールは絶対に入っているのに、相手がアウトコールをする～

入っている自信があるのなら、ロービングアンパイア(コート内にいる係員)に
「相手の子が私の打ったボールは絶対に入っているのに
アウトと言うので試合を見て下さい」と言いましょう。

トイレにいきたくなったら～

がまんしないで、相手に「トイレにいきます」といって許可をもらいましょう。

5 応援について

応援は拍手でしましょう。必要以上に大きな声で声援を送るのはやめましょう。
自分が応援するジュニアがよいショットを打って決めたときは拍手をしましょう。
相手のダブルフォルトやかんたんなミスをしたときには拍手や声援はやめて下さい。

どうしても応援がうるさくて、試合がやりづらいついたらその人に
「少し静かにして下さい」とお願いしましょう。
勇気があることですが、自分がいっしょうけんめいに試合をするためです。
がんばってみてください。

6 ご父兄・関係者の皆様へ

ジュニアが試合をすることは大人が考えているよりも大変なものです。
特に初めての参加の場合は、足が震えたり、中には緊張のあまり
泣きながら試合をする子もおります。
ご自分のお子様も他人のお子様も、同じ条件の中で戦っています。
ルール・マナー等をお守りいただき、ジュニアテニスの発展に
ご協力頂きたくお願い申し上げます。

7 大会参加資格について

埼玉県テニス事業協会加盟クラブです。

